

### 第3学年 社会科 学習指導案

#### 1. 小単元名『受けつがれる小倉祇園太鼓』

(教科書：『小学社会3・4上』p.100～105／学習指導要領：内容（5）イ)

#### 2. 小単元の目標

地域の人々の生活について、地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事を見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、生活の安定と向上に対する地域の人々の願いや、文化財や年中行事を保存・継承するための工夫や努力について考える。

#### 3. 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
小倉祇園太鼓に関心をもち、意欲的に調べようとしている。また、小倉祇園太鼓に込められた人々の願いに関心をもち、小倉のまちのよりよい発展について進んで考えようとしている。	小倉祇園太鼓について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。また、小倉のまちの人々の願いと小倉祇園太鼓を保存・継承する人々の努力とを関連付けて考え、適切に表現している。	小倉祇園太鼓の保存・継承に携わる人の話や図書資料、視聴覚資料等をもとにして調べ、必要な情報を集めて読み取ったり、ノートや新聞にまとめたりしている。	小倉のまちの人々が受け継いできた小倉祇園太鼓の様子や、保存・継承する人々の努力や願いを理解している。

#### 4. 指導にあたって

##### (1) 児童の実態

本学級の児童は、社会科学習に意欲的に取り組んでいる。本校校区は、小倉北区と小倉南区の二つの区にまたがっており、夏になると、響き渡る太鼓の音色をきくことができる。また、校区の市民センターでは、「太鼓クラブ」も活動しており、学校行事や地域行事の際に練習の成果を披露するなど、児童が小倉祇園太鼓を見たりきいたりする機会は比較的多い。1学期単元「わたしたちの大好きなまち」の校区探検において、校区に太鼓店があることやその太鼓が祭りで使われていることなどを知り、小倉祇園太鼓に興味をもっている姿が見られた。しかし、学級全体としては、実際に祭りに参加したり見に行ったりした経験をもつ児童は少ない。

観察・資料活用の技能については、課題追究のための見学・調査活動に積極的に取り組む傾向が見られ、校区探検においても、たくさんの気づきをメモすることができていた。しかし、それらを調べる視点にそって整理したり、調べたことの中から必要な情報を選択したりすることは苦手である児童が多い。思考力・判断力・表現力にかかわる面では、事象の意味や背景を考えたり、いくつかの事象を関連付けながら自分の考えを再構成したりする力に課題がある。また、自分の考えの根拠となる資料や事実を示しながらわかりやすく説明することができる児童はほとんどいない。

(2) 教材について

本小単元では、地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事として、「小倉祇園太鼓」を取り上げる。約 400 年の歴史をもつ小倉祇園太鼓は、福岡県の無形民俗文化財に指定されており、国の指定に向けた前向きな動きも見られる。小倉の城下町を中心に受け継がれてきたこの祭りは、現在では、小倉の中心部から隣接区へ広がり、さらには、海外での団体活動も確認されている。小倉祇園太鼓保存振興会を中心とした保存・振興活動、子どもたちへの継承活動も盛んに行われており、現在では、女性や条件を満たしたチームの参加も認められるなど、地域を限定せず、祭りの振興を図っていることも小倉祇園太鼓の大きな特徴である。祭りの範囲や参加団体が広がる一方で、本来の祭りの姿や伝統が、しっかりと受け継がれていないという課題も抱えている。小倉祇園太鼓が小倉のまちや北九州市を代表する祭りであること、保存・継承に携わる人々がたくさんいること、そういった人々への調査活動が可能であることなどから、小倉祇園太鼓は、具体的な人の姿を通して、地域の発展やまとまりなどへの願いをとらえることができる教材である。この学習を通して、地域社会に対する誇りや愛情、地域社会の一員としての自覚を育むことができると考える。

(3) 指導上の工夫・留意点

指導にあたっては、「つかむ」段階で、小倉祇園太鼓の歴史や祭りの様子をとらえ、関心をもたせるとともに、調査活動への意欲を高めることができるように、写真やビデオ等を見せるようにする。その際、昔の祭りの写真や年表を提示し、今と変わらぬ祭りの姿と変わってきた祭りの姿、400 年もの長きにわたり続いてきたことに問題意識を焦点化させていくようにする。「調べる」段階では、保存・継承に携わる人々の願いや努力について具体的に調べるができるように、小倉祇園太鼓保存振興会の方による太鼓の実演を見たり、話をきいたりする場を設定する。「考え表現する」段階では、保存・継承に携わる人々の願いや努力をとらえ、これからの小倉祇園太鼓の保存・継承のあり方について考えることができるように、小倉祇園太鼓がこれからも続いていくためのアイデアを保存振興会の方に提案する場を設定したり、調べてわかったことや考えたことを新聞にまとめる活動に取り組みせたりする。「生かす」段階では、他の祭りや年中行事に込められた願いや、それらを保存・継承するための努力をとらえることができるように、それぞれの祭りや年中行事の保存・継承に携わる人の話を紹介したり、小倉祇園太鼓との共通点を考えさせたりする。

5. 小単元の指導計画（総時数 9 時間）

時	ねらい	○学習活動 ・内容	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
① (つかむ)	現在の小倉祇園太鼓について、知っていることや自分の経験などを話し合い、学習問題や予想、学習計画を考える。 ①	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     小倉祇園太鼓は、どのようなお祭りのだろう。                 </div> ○現在の小倉祇園太鼓について話し合い、様子や内容についてとらえる。 ・太鼓をたたく祭りである ・参加して太鼓をたたいたことがある ・たくさんの人でにぎわっている	◎今年のお祭りの写真・ビデオ ◎昔（約 40～100 年前）のお祭りの写真 ◎年表 ◇祭りの様子を具体的にとらえることができるように、今年のお祭りの写真やビデオを視聴させる。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんな同じような服装をしている</li> </ul> <p>○昔の祭りの写真や年表をもとに、現在の祭りと昔の祭りを比べ、調べたいことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつ始まったのか</li> <li>・昔はどのような祭りだったのか</li> <li>・どのように続けられてきたのか</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(学習問題) 小倉祇園太鼓は、どのようにして 400 年間も続けられてきたのだろうか。</p> </div> <p>○小倉祇園太鼓がどのようにして続けられてきたのか予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで祭りを大切にしてきたから</li> <li>・子どもに教えてきたから</li> <li>・祭りを守る人がいるのではないか</li> </ul> <p>○小倉祇園太鼓について、調べることや調べ方、まとめ方について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りの始まりや歴史</li> <li>・祭りを守る人や取り組み</li> <li>・祭りに関する資料を集める</li> <li>・祭りに携わる人にインタビューする</li> </ul>	<p>◇祭りの始まりや長い間続けられてきたことへの興味・関心を高めることができるように、昔の小倉祇園太鼓の写真を提示したり、その写真を年表に位置づけながら 400 年前までさかのぼったりする。</p> <p>◇調べ方やまとめ方について、具体的な方法を話し合うことができるように、教科書や地域副読本を参考にする。</p> <p>◆小倉祇園太鼓について、「どのように続けられてきたのか」という学習問題やそれに対する予想を考え、表現している。(思・判・表/発言・ノート)</p>
<p>② ③ ④ (調べる)</p>	<p>小倉祇園太鼓の始まりや歴史について調べる。①</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>小倉祇園太鼓は、どのように始まったのだろうか。</p> </div> <p>○小倉祇園太鼓の始まりや歴史について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当時の殿様が京都の祭りを参考にして始めた</li> <li>・「病気がはやらないようにしたい」「米や野菜がたくさんとれてほしい」「まちを元気にしたい」などの願いが込められていた</li> <li>・祭りが始まったころは、山車や山鉾が出てまちを回っていた</li> <li>・昔は太鼓を打っていなかった</li> <li>・途中で途切れたり、形を変えたりしながらも、祭りは長い間続けられてきた</li> </ul>	<p>◎地域副読本 ◎年表</p> <p>◇地域副読本や年表をもとに、小倉祇園太鼓の始まりや歴史について調べるようにする。</p> <p>◆資料をもとに、小倉祇園太鼓の始まりや歴史を調べ、ノートにまとめている。(技/発言・ノート)</p>

	<p>小倉祇園太鼓保存振興会の人々の取り組みについて調べる。</p> <p>②</p>	<p>小倉祇園太鼓は、どのようにして守られてきたのだろう。</p> <p>○太鼓の実演を見たり、保存振興会の取り組みについて質問したりして、小倉祇園太鼓を保存・継承するための取り組みについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太鼓の打ち方も長い間続いてきたと考えるとすごい</li> <li>・祭りを続けるために、参加のルールを変えてきた</li> <li>・伝統的な太鼓の打ち方や服装など、変えずに守ってきたものもある</li> </ul>	<p>◎G T (保存振興会の人)の話</p> <p>◇祭りや保存振興会の取り組みなどをより具体的にとらえることができるように、保存振興会の方による太鼓の実演を見せたり、祭りの保存・継承のための取り組みについて質問する時間を設けたりする。</p> <p>◆見学や質問をもとに、小倉祇園太鼓を保存・継承するための取り組みについて調べ、ノートにまとめている。</p> <p>(技/発言・ノート)</p>
<p>⑤ ⑥ ⑦ (考え表現する)</p>	<p>小倉祇園太鼓が 400 年間続けられてきたわけについて話し合う。</p> <p>①</p>	<p>小倉祇園太鼓は、なぜ 400 年間も続けられてきたのだろう。</p> <p>○小倉祇園太鼓が 400 年間も続けられてきたわけについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの方が協力してきたから</li> <li>・保存振興会の人たちが祭りを守ろうと努力してきたから</li> </ul> <p>○V T Rを視聴し、祭りに込められた願いについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの発展を願い、心の結びつきを大切にしている</li> <li>・祭りには、昔も今も、地域の人々の願いが込められている</li> </ul>	<p>◎V T R (保存振興会の人)の話</p> <p>◇今も昔も人々は地域の生活の安定と向上を願っていることを理解することができるように、調べたことや保存振興会の人のお話をもとに、小倉祇園太鼓に携わる人々の具体的な姿や取り組みについて話し合う。</p> <p>◆小倉祇園太鼓に携わる人々の努力や願いを考え、適切に表現している。</p> <p>(思・判・表/発言・ノート)</p>
	<p>小倉祇園太鼓について、調べてわかったことや考えたことを新聞にまとめる。</p> <p>②</p>	<p>小倉祇園太鼓について、調べてわかったことや考えたことを新聞にまとめよう。</p> <p>○小倉祇園太鼓の始まりや歴史、保存・継承のための取り組みなどについて振り返り、わかったことや考えたことをまとめ、新聞に表現する。</p>	<p>◇わかったことや考えたことをもとに新聞にまとめることができるように、「これからの小倉祇園太鼓」というテーマで社説を書かせる。</p> <p>◆小倉のまちの人々が受け継いできた小倉祇園太鼓の様子や保存・継承する人々の努力や願いについて考えたことを新聞に適切に表現している。</p> <p>(思・判・表/ノート・作品)</p>

<p>⑧ ⑨ (生かす)</p>	<p>これからの小倉祇園太鼓の保存・継承について考える。 ① 【本時】</p>	<p>小倉祇園太鼓が、自慢の祭りとして長く続くためには、どうすればよいだろう。</p> <p>○小倉祇園太鼓の自慢できるところを話し合う。 ・たくさんの人でにぎわうところ ・400年の歴史をもつところ など</p> <p>○小倉祇園太鼓をこれから先も続けていくためのアイデアを提案する。 ・体験コーナーをつくって祭りの楽しさを知ってもらう ・祭りの歴史や伝統を広める など</p> <p>○これからの小倉祇園太鼓の保存・継承について考える。 ・伝統を守りながら、参加者や観客を増やすための工夫や努力を続けていく ・伝統や思い、願いを受け継いでいかなければならない</p>	<p>◎G T (保存振興会の人)の話 ◎新聞記事 ◇アイデアの意味や根拠になった事実・考えを引き出すことができるように、提案した児童や似たアイデアをもつ児童に積極的に問い直ししながら、話し合わせるようにする。 ◇これからの保存・継承に向けた具体的な動きをとらえることができるように、国の指定に向けた取り組みに関する新聞記事を提示する。 ◆これからの小倉祇園太鼓の保存・継承について、小倉祇園太鼓に携わる人々の努力や願いをもとに考え、適切に表現している。 (思・判・表/発言・ノート)</p>
	<p>地域で行われている年中行事や市内の他地域で行われている祭りについて調べ、暮らしとの関わりや人々の願いについて話し合う。 ①</p>	<p>他の地域の祭りや年中行事には、どのような願いが込められているのだろう。</p> <p>○身近な地域や市内の他地域で行われているその他の祭りや年中行事について調べる。 ・校区の祭り ・黒崎祇園山笠 ・戸畑祇園大山笠</p> <p>○他地域の祭りや年中行事に込められた人々の願いについて話し合い、本単元の学習をまとめる。</p>	<p>◎校区の祭りに携わる人の話 ◎他区版の地域副読本 ◇他地域の祭りや年中行事に込められた思いや願いを具体的に考えることができるように、校区や他地域の祭り・年中行事に携わる人の話を紹介する。 ◆他の祭りや年中行事に関心を持ち、地域社会の一員としての自分のあり方について考えようとしている。 (関・意・態/発言・ノート)</p>

## 6. 本時の指導 (第8時)

### (1) 本時のねらい

これまでの学習や祭りに携わる人の話をもとに、祭りの自慢を伝え合ったり、これからも自慢の祭りとして長く続くために大切なことを話し合ったりする活動を通して、祭りに携わる人々の努力や願いをもとに、これからの小倉祇園太鼓の保存・継承について考えることができるようにする。

(2) 本時の展開

時配	○学習活動 T：発問 C：児童の反応 GT：保存振興会の方の話	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
10	<p>○これまでの学習をもとに小倉祇園太鼓の自慢を発表し、本時のめあてをつかむ。</p> <p>T：小倉祇園太鼓のどんなところが自慢できますか。</p> <p>C：男女や年齢に関係なく、いろいろな人が参加できる場所です。</p> <p>C：伝統を守りながら400年も続いてきたことが自慢です。</p> <p>C：福岡県の文化財にもなっています。</p> <p>T：これからどんな祭りになってほしいですか。</p> <p>C：ずっと先まで続いてほしいです。</p> <p>C：もっとたくさんの方が参加して、盛り上げてほしいです。</p> <p>T：では、事前に考えたアイデアを出し合いながら、これから小倉祇園太鼓について考えていきましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>小倉祇園太鼓が、自慢の祭りとして長く続くためには、どうすればよいだろう。</p> </div>	<p>◎学びのあしあと（これまでの学習の記録）</p> <p>◎年表</p> <p>◇「小倉祇園太鼓＝わたしたちの祭り」という思いをもって学習に臨むことができるように、自分たちが調べて考えた祭りの自慢を振興会の方に聞いてもらう活動を仕組む。</p> <p>◇これからの保存・継承に意識を向けられるように、「ずっと続いてほしい」「これから先どうなっていくのか気になる」という前時の学習までの児童の振り返りを取り上げる。</p>
15	<p>○小倉祇園太鼓がこれからも自慢の祭りとして続いていくためのアイデアを提案する。</p> <p>T：どうすれば小倉祇園太鼓がこれからも自慢の祭りとして長く続いていくのでしょうか。アイデアを発表しましょう。</p> <p>C：祭りの時に、体験コーナーをつくったらよいと思います。</p> <p>T：どうしてそう思ったのですか。</p> <p>C：自分も体験してみて、祭りに行きたいと思ったからです。</p> <p>C：新聞やポスターなどで宣伝したら、人がたくさん来てくれると思います。</p> <p>T：どんなことを伝えたら「祭りに行きたい」と思うでしょう。</p> <p>C：いろいろな人が参加できるようにルールが変わってきたことや、これまでの長い歴史などを伝えたらよいと思います。</p> <p>C：新しいチームをつくれればよいと思います。</p> <p>T：せっかく新しいチームをつくるなら、太鼓のたたき方や服装もこれまでとは全く違う新しいものにしたらよいですね。</p> <p>C：それでは伝統が守られません。ルールや伝統をきちんと守らないと、小倉祇園太鼓ではなくなってしまいます。</p> <p>T：今の意見と似ているアイデアを考えた人がいましたね。</p> <p>C：太鼓をたたく人は増やすけど、たたき方は変えません。</p> <p>T：どうして、たたき方は変えてはいけないのですか。</p> <p>C：両面打ちと歩行打ちが、小倉祇園太鼓の伝統だからです。</p>	<p>◇自信をもって発表することができるように、事前に提案内容を考えておくようにする。その際、これまで学習したことを根拠にしながらかえるように指導する。</p> <p>◇児童の考えを深めたり広げたりすることができるように、提案したアイデアの意味を問い直す発問や揺さぶる発問をしたり、関連するアイデアを考えた児童を意図的に指名したりする。</p> <p>◇小倉祇園太鼓を「広げる」「守る」といった視点ごとに、児童のアイデアをまとめ、板書の構造化を図る。</p>

<p>10</p>	<p>○小倉祇園太鼓を保存・継承していくための取り組みや、祭りに込めた願いについて、保存振興会の方の話を聞き、これからの小倉祇園太鼓の保存・継承について考える。</p> <p>T: 今、みなさんから「広げる」「守る」という視点でアイデアが出てきました。この「広げる」「守る」ということについて、保存振興会や町内で実際に取り組んでいることはありますか。</p> <p>GT: 「広げる」ということで言うと、町内では、保育園と協力して、小さい子どもに小倉祇園太鼓を教えています。若い力を町内に加えようと努力しています。</p> <p>C: 小さい子どもに教えると、その家族も祭りに参加したり、見に来たりするかもしれません。</p> <p>C: △△さん (GT) は、太鼓クラブでも太鼓を教えています。</p> <p>T: どうして子どもたちの若い力が必要なのでしょう。たつき方の上手な大人がたくさんいた方が、競演会でも優勝できるのではないですか。</p> <p>C: その子どもが大人になって、祭りを受け継ぐ人になっていくから、若い力が必要だと思います。</p> <p>GT: 「守る」ということで言うと、町内では、伝統を守るための大人の活動に、なるべく子どもたちを参加させたり見学させたりしています。また、教える立場の人を育てるための講習会も行っています。それに、みなさんが今、小倉祇園太鼓について学んでいるように、祭りの歴史や伝統を正しく知ること、</p> <p>T: △△さんは、太鼓クラブで太鼓を教えています。太鼓クラブは、休日に仕事の合間を縫って続けられているそうです。どうしてそこまでするのでしょうか。</p> <p>C: 自分の好きな祭りを子どもたちにも好きになってもらって、祭りに参加してほしいからだと思います。</p> <p>C: 祭りを受け継いでほしいからだと思います。</p> <p>C: 祭りには、昔も今もみんなの夢や願いが込められていて、それをかなえるためにしているのだと思います。</p> <p>GT: 小倉祇園太鼓はわたしたちの誇りです。この自慢の祭りをたくさんの人に知ってほしい、受け継いでほしいという願いをもって、いろいろな活動に取り組んでいます。それに、活動を通して、人と人とのつながりや町内同士のつながりが生まれます。そんなつながりや心の結びつきを大切にすることで、まちが明るく元気になると信じています。</p>	<p>◇児童の成就感や行動意欲を高めることができるように、保存振興会の方に児童のアイデアを賞賛していただいたり、児童のアイデアと祭りの保存・継承のための取り組みを結びつけて話していただいたりする。</p> <p>◇取り組みの背景にある、祭りに携わる人々の思いや願いに迫ることができるように、小倉祇園太鼓を保存・継承していくための取り組みについて「なぜそこまでするのか」と児童に問いかけて考えさせたり、保存振興会の方に答えていただいたりする。</p> <p>◆これからの小倉祇園太鼓の保存・継承について、小倉祇園太鼓に携わる人々の努力や願いをもとに考え、適切に表現している。</p> <p>(思・判・表／発言・ノート)</p>
-----------	--	--

<p>5</p>	<p>○国の重要無形民俗文化財の指定に向けた動きに関する新聞記事をもとに、これからの小倉祇園太鼓の保存・継承について新たな視点を見出す。</p> <p>T:「夢」や「誇り」というキーワードが出てきましたが、先生もこんな新聞記事を見つけました。「夢がかなった」「地域の誇り」これは、この記事の小見出しの言葉です。どんな夢がかなったのでしょうか。何が誇りなのでしょう。</p> <p>C:今年もたくさんの方が祭りに参加したことだと思います。</p> <p>C:小倉祇園太鼓が400年も続いてきたことでしょうか。</p> <p>T:実は、小倉祇園太鼓は、国の文化財になろうとしているのです。(児童から歓声があがる)</p> <p>C:△△さん、本当に国の文化財になるのですか。</p> <p>C:そうなったら嬉しいですか。</p> <p>GT:みなさんと同じように、わたしたちにとっても大変嬉しいニュースでした。実は、まだ正式に認められたわけではありませんが、わたしたちの自慢の祭りが国の文化財としてふさわしいと認められようとしています。</p> <p>T:「広げる」「守る」に加えて、「認められる」ことで、さらに自慢の祭りになりそうですね。「認められる」と、「広げる」「守る」取り組みは、どうなっていくのでしょうか。</p> <p>C:もっと有名な祭りになると思うので、もっとたくさんの人に知ってもらえるし、来てもらえると思います。</p> <p>C:これまで伝統やルールを守ってきたから認められたと思うので、「これからも守っていこう」となると思います。</p>	<p>◇国の文化審議会の答申で、小倉祇園太鼓が「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」として選ばれたことに関する新聞記事を取り上げ、国レベルでの保存・継承に向けて努力が続けられていることと、それによって「広げる」「守る」取り組みの効果が上がることなどをとらえさせるようにする。</p>
<p>5</p>	<p>○本時の学習をまとめ、次時の学習への見通しをもつ。</p> <p>T:今日の学習でわかったことをまとめましょう。</p> <p>C:「広げる」「守る」取り組みをこれからも続けていくことが大切だということがわかりました。</p> <p>C:国の文化財になりそうだと知って嬉しく思いました。</p> <p>GT:みなさんが祭りの未来について真剣に考えている姿を見て感動しました。次の時代を担う子どもたちが育っていることに安心しました。そんなみなさんがいるこのまちは、もっとよいまちになっていきそうですね。</p> <p>C:子どもたちに太鼓を教えるのは、次々に受け継がれていくからだと思います。それをずっと続けているから、小倉祇園太鼓は、これからも続いていくと思います。</p> <p>C:わたしたちも小倉祇園太鼓を受け継ぐ一人として、今日学習したことをいろいろな人に伝えたいです。</p>	<p>◇本時の学習の振り返りとして、わかったことや考えたこと、次時の学習への見通しなどについてノートに書かせるようにする。</p> <p>◇児童が前向きに地域の一員としての自覚をもつことができるように、最後に保存振興会の方に感想を交えて話をさせていただくようにする。</p>